

The World Citizen

平成31年（令和元年）度 第1回学校評価保護者アンケートの結果と改善策について

今回のアンケートは、全校で681(前年+63)人の保護者の方にご回答をいただきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。アンケートの集計結果がまとまりましたので、お知らせいたします。お寄せいただいた貴重なご意見をもとに、日々の教育活動の工夫・改善に努めていきたいと考えております。残念ながら在校生(生徒)の回答数が減少してしまいました。第2回(12月)では、ご家庭でも回答を促していただけると幸いです。

* 集計結果は、生徒・保護者の「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」の合計割合(%)です。

評価項目	第1回集計結果		今後に向けての改善策
	前期	後期	
1 子どもは家庭や地域でも自分から進んであいさつをする。	89	88	現在の取組を継続しつつ、「心を開いて相手にせまる」という挨拶の持つ意味や力を理解し、より多くの教師が生徒に声かけできるように、あらゆる場面で行いたい。
2 子どもは家庭や地域等で、学校での清掃活動の経験を生かしている。	69	65	保護者による評価が低い。PTA行事や刊行物を通して、家庭と協力して環境整備を実践できる地球市民養成の必要性を訴えたい。
3 子どもは学校が好きである。	94	89	現在の取組を継続しつつ、朝の奉仕活動等を通して生活(学習)環境を整備し、「環境が人を変える」ことを意識させ、生徒が自身の可能性を広げることができる環境を整備していきたい。
4 子どもは英語や外国文化に興味がある。	91	87	現在の取組を継続しつつ、より質の高い授業を目指し改善を加えながら、実践的なコミュニケーション場面や課題解決型の活動を増やし、実用能力を高めたい。
5 イングリッシュキャンプやスピーチコンテスト、海外修学旅行などにより、子どもの国際コミュニケーション能力は高まっている。	89	85	各学年において、授業と行事を関連付けながら、興味関心や意欲をさらに高められるように行事の改善や工夫をしていく。
6 学校は、授業や学校行事を通じて我が国の文化・伝統に触れる機会を設けている。	90	90	現在の取組を継続すると共に、日本及び世界の文化・伝統と関連させた内容が各教科でどの程度取り上げられているかをFEWC人材育成ブリック等で確認していく。
7 子どもたちには、確かな学力身についている。	85	86	現在の取組を継続しながら、年2回実施する授業アンケートの結果を各担当が分析し、個々の生徒の理解度を正確に把握すると共に、全体指導も改善したい。
8 英語や数学の少人数学級は生徒の学力向上に効果がある。	92	91	学校全体で少人数指導のメリットについて再確認し、そのメリットが最大限に生かせるように常に指導方法を見直していく。
9 子どもは、自分なりの目標をもって学習に取り組んでいる。	82	87	課題探究的思考力・ディープアクティブラーニングによって生徒が生き生きと学ぶ授業をめざし、全職員が生徒の発達段階に応じた授業づくりにつとめたい。
10 子どもは、毎日家庭学習に取り組む習慣が身についている。	73	78	すべての生徒が家庭における学びを充実させ、望ましい学習習慣を確立できる課題の課し方を、全校で検討し共有していく。
11 子どもの様子から、子どもは先生との信頼関係が築けている。	85	83	現在の取組を継続しつつ、全職員で全生徒の言動に注視し、「すべては生徒の成長(健全育成)のために」適切なタイミングで叱咤激励を行なう。
12 学校生活を通して、子どもはクラスの友人とよりよい人間関係を築いている。	95	90	現在の取組を継続しつつ、互いの価値観を認め合い、互いに高め合える集団を目指していく。
13 子どもは自分の健康に留意して生活している。	84	78	健康行動に関する研究やアンケート調査を生徒保健委員会によって実施し、全校生徒に具体的な行動指針を示し、実践させたい。
14 子どもは、部活動や委員会活動に積極的に取り組んでいる。	94	80	3年生から4年生にかけての部活動加入のスムーズな展開と4年次以降の部活動継続の声掛けを徹底するなど、現状の取組を維持していく。
15 学校はいじめ防止に努め、いじめが発生した場合にも解消してくれた。	86	83	現在の取組を継続しつつ、いじめの定義を周知徹底し、いじめの認知を積極的に行なっていく。その上で、「いじめは何かあっても許さない」という姿勢を貫き、よりきめ細かい対応として生徒への面談等を実施し関係を密にしていきたい。
16 子どもは、自己を理解したうえで将来の職業を選択しようと考えている。	80	85	「主体的・対話的で深い学び」によって自己を理解し、協働学習によって自己有用感を向上させる指導を行っていく。(前期) 探究的な諸活動を通して、自分自身が将来その解決に取り組みたいと考える社会的課題を設定する指導を行っていく。(後期)
17 子どもは、自分自身の進路に関する意識を有している。(後期課程のみ)		91	課題解決に向けて、蓄積した学力を得点力に、さらに合格力に転化させ、第一志望校への現役合格を実現する指導を行う。
18 子どもは、進路希望を理解している。	78	91	生徒・保護者がともに参加する進路講演会を実施し、家庭におけるキャリア観の構築を促したい。
19 学校から、生徒・保護者に必要な進路情報の提供を受けている。	72	85	文理選択・科目選択をはじめ、二者面談・三者面談における各生徒に対する個別指導を充実させたい。
20 進路講演会や進路関連行事は、子どもの成長が伺える機会であり有益である。	87	91	年間行事計画にしたがい、各学年段階にとって適切な内容の進路講演会・進路学習会を実施したい。
21 学校のwebページには、新しい情報が定期的に掲載されている。	87	85	学校行事や授業に関する情報に加え、部活動やその予定、志願者に対する情報等をこまめに更新することを心掛けると共に、更新情報がわかるような工夫を行っていく。
22 保護者向け学校行事は、子どもの成長が伺える機会であり有益である。	94	93	関係各部との連携のもと、より効果的な行事となるよう取組を深める。
23 学校は、適切に文書やメール等で連絡してくれる。	87	91	一斉メールの運用を適切に行うこと等により、保護者にとって有意義な情報が各部署から適切なタイミングで発信されるように努力する。
24 学校はPTA(保護者)と連携し、奉仕活動などの地域活動を行っている。	86	81	恒例行事として定着した感のある地域美化活動を引き続き実施するとともに、活動の事実を周知するように引き続き努めたい。
25 交通安全教室や防災避難訓練は子どもの安全意識向上に役立っている。	95	91	現在の取組を継続しつつ、「交通事故は命に関わること」を念頭に、交通指導を通してより生徒が実感できる内容にしていく。
26 学校の施設・設備は整備され、安全である。	89	84	生活安全、災害安全のための点検が形骸化しないよう、職員と生徒、両者の視点からしっかりと実施していく。

○第1回学校評価保護者アンケート自由記述欄への回答

多くの貴重なご意見やご提案をいただいております。ご協力いただき、ありがとうございました。その中で、主だった意見とその対応について報告いたします。少数意見の中にも全体につながる貴重な意見をいただいております。一つ一つ解決に向けて検討し、より良い学校運営に生かしてまいります。

○部活指導について

部活指導方針については、特に、週末に土曜日、日曜日の両日も部活動になってしまい休みが取れていないという意見をいただきました。特に、春の大会、夏の大会が続く、4月から7月の間は、それに県大会出場が重なれば生徒や保護者にとっては忙しい毎日になってしまっていることと思います。1週間に2日間の休みを確保するように教員間で再度共通理解を図りました。また、8月からは新チームとなり休みを適切に確保し生徒の心身の向上を図るように管理職からも助言しました。ご理解ご協力をお願いいたします。

また、お子様が所属している部活動以外の大会日程についても情報を得たい要望も出ています。こちらの方は、ホームページを工夫していきたいと考えています。

○登下校の安全について

生徒の自転車の安全な運転に関しては、教員、生徒、保護者、地域が連携しながら定期的、計画的に朝の交通指導、交通安全教室を行っています。また、生徒の登下校時の荷物に関してですが、「すべて持ち帰る」ことではなく「予習・復習・宿題の家庭学習に必要な教科書等」を持ち帰るように指導し、なるべくカバンが重くならないように配慮しています。そして、校舎北側の道路等通学路の安全確保についてですが、関係する県や市に要望を出しておりますが、なかなか地権者との関わりもあり難しい状況があります。しかし、できる部分については改善を進めて参りたいと思います。

○食育と45分間の昼休みについて

保護者の皆様もご承知のように、生徒の朝と放課後は予定や計画が入っており、臨時にまとまった人数を集めて委員会活動や課題活動の実施をすることがなかなか難しい現状があります。そこで、昼休みの45分間の中に委員会活動や課外活動を実施してしまう場合があることが現状です。それらの活動との関連で課題となってくるのが食育です。食育は、カフェテリアのメニューとの関係で心配している保護者の方もおられます。学校としても本校の食育に関しては課題を感じており今後工夫していかなければならない点と感じております。もし、よいお知恵をお持ちの保護者の方がおりましたら副校長でお電話をいただければ幸いです。また、PTA本部の方にお話しいただき、PTA役員会の中で話し合ってもらえることもできるかと思っております。

○清掃について

本校の生徒は、学校での清掃をよくやってくれています。ただ、家庭での清掃は保護者の方々に任せてしまう場合も多いと思います。全員がまじめな生徒ですから自分のできる範囲でよく努力していることと思います。清掃や挨拶は、その一つです。時々手を抜いてしまうことがあるかもしれませんが、清掃や挨拶などの基本的な生活習慣の状況について時々お子様に尋ねていただくと幸いです。

ご協力ありがとうございました。